

1 日常の学習状況・課題について

(1) 学習面

- ・取り上げる読み物教材の難易度によって、ねらいとする価値に照らして自己を振り返ることができない生徒も一部に見られる。
- ・めあてについて深く考えるところまでなかなかできず、ワークシートが、表面的な記述に終始したり、簡単な単語の羅列で終わる生徒もいる。

(2) 指導面

- ・年間指導計画に基づき、副読本や視聴覚教材の利用をするなどして、指導項目やテーマについて生徒の興味関心、日常の体験などを考慮しながら授業を行っている。
- ・人間としての生き方について自覚を深め、道徳的心情から道徳的实践に結びつくような授業を心がけ、発問の工夫やワークシートの記録に重点を置いている。
- ・学年毎に重点指導項目を決めて、指導をしている。

2 改善の計画

- (1) 生徒の理解、興味関心を高めていくために、副読本の利用だけでなく、生徒の実態に合った身近な資料を集める。(例:新聞記事の活用や人権作文など)
- (2) ねらいとする価値に照らして、自己を振り返る場面を、授業の中で設定していく。
(例:自己のさまざまな体験活動に結びつける、四人組で話し合わせる、など)
- (3) 生徒同士のコミュニケーションを円滑にするために、まず自己の意見や要点を押さえて話すことができるように指導をする。また、ロイロノートなどのツールを使い、多様な意見に触れることができるようにしていく。
- (4) 学年の各教員の専門性や特性を生かし、クラスや学年全体で授業を行っていく。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) ロイロノートなどのツールを用いるなど、多様な意見や考えを認め、受け入れられるような活動をしていく。また、多様な意見に触れ、新たな気づきや、自分の考えの変化などを感じることができるようにする。

4 プランの評価方法

- (1) 生徒アンケートを実施し、今後の道徳の授業や評価に生かしていく。
- (2) ワークシートをファイルに保存させ、学期ごとにまとめて、自己の成長を確認させる。